

平成 29 年度第 1 回加西市元気なまちづくり市民会議 次第

平成 29 年 6 月 24 日(土) 13 時～
加西市役所 5 階大会議室

開会

- 1 会長あいさつ
- 2 委員紹介
- 3 議事
 - (1) 加西市元気なまちづくり市民会議の進め方について
 - (2) 内部評価（1次評価）結果の概要説明
 - (3) 外部評価（2次評価）実施要領
 - (4) 平成 29 年度地域創生関連の主な取組みについて
 - (5) 加西市地域創生戦略の状況報告について
- 4 その他

閉会

配布資料

- ・資料 1 加西市元気なまちづくり市民会議の概要
- ・資料 2 加西市元気なまちづくり市民会議の運営について
- ・資料 3 加西市元気なまちづくり市民会議設置要綱
- ・資料 4 総合計画等の進行管理について
- ・資料 5 平成 28 年度内部評価の概要
- ・資料 6 外部評価（2次評価）実施要領（案）
- ・資料 7 平成 29 年度地域創生関連の主な取組み
- ・資料 8 加西市地域創生戦略の成果指標の状況（平成 28 年度）

【次回開催予定】

第 2 回 平成 29 年 7 月 22 日(土) 13:00～ 市役所 4 階会議室
※ 平成 28 年度事業の評価検証 等

平成 29 年度 第1回加西市元気なまちづくり市民会議 出席者名簿

(五十音順)

| 氏名 | 団体名等 | 役職 | 備考 |
|--------|-----------------|-----------|------|
| 小川 麻弥 | 連合保護者会 | 副会長 | (欠席) |
| 河尻 悟 | 神戸新聞社 | 北播総局加西支局長 | |
| 久米澤 稔 | 連合兵庫北播地域協議会 | 副議長 | (欠席) |
| 杉本 建人 | 加西商工会議所 | 専務理事 | 副会長 |
| 高見 めぐみ | 女性農業者 | — | (欠席) |
| 多田 安洋 | 加西市区長会 | 副会長 | (欠席) |
| 立花 莉絵子 | 加西市地域おこし協力隊 | 隊員 | |
| 辰巳 浩輝 | 北条金融協会 | 会長 | |
| 谷川 賢次 | 加西市連合PTA | 副会長 | (欠席) |
| 橋本 たへ子 | 加西市連合婦人会 | 理事 | (欠席) |
| 牧瀬 稔 | 関東学院大学法学部地域創生学科 | 准教授 | 会長 |
| 吉田 廣 | 加西市老人クラブ連合会 | 会長 | |

■事務局

| 氏名 | 所属・役職名 |
|-------|-----------------------|
| 須貝 正俊 | 加西市理事（地域創生担当） |
| 森井 和喜 | ふるさと創造部長 |
| 藤後 靖 | ふるさと創造部人口増政策課長 |
| 小菊 啓靖 | ふるさと創造部人口増政策課課長補佐 |
| 小林 和敏 | ふるさと創造部人口増政策課係長 |
| 菅生 綾子 | ふるさと創造部人口増政策課主任 |
| 岩野 裕之 | ふるさと創造部人口増政策課主任 |
| 小山 映 | ふるさと創造部人口増政策課まちづくり専門員 |

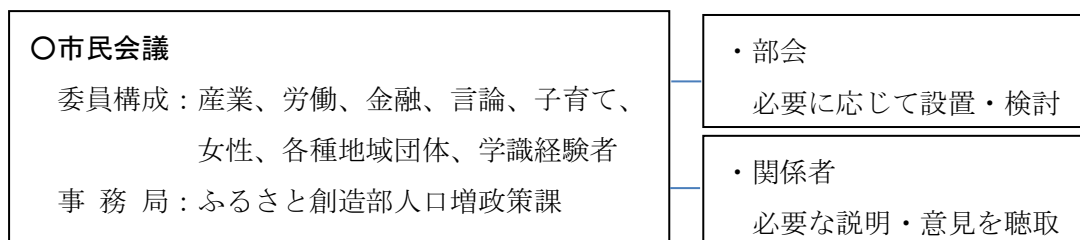
加西市元気なまちづくり市民会議の概要

1 趣旨

平成 28 年 3 月に策定した加西市総合計画後期計画(平成 28～32 年度)等（以下「総合計画等」という。）に基づいた元気なまちづくりを、市民との協働により推進するとともに、効率的かつ透明性の高い行財政運営を構築するため、「加西市元気なまちづくり市民会議」（以下「市民会議」という。）を設置する。

2 体制と役割

総合計画等の進行管理のため、地域の産学官金労言老若女の有識者による市民会議を設置し、地域創生戦略や行財政改革プラン等について報告を受け調査するほか、検討した意見を市長に対して提案する。



- ① 加西市地域創生戦略の推進及び評価検証
- ② 行財政改革プランの推進及び評価検証
- ③ その他総合計画等の推進に関して必要な事項

3 スケジュール

■第 1 回市民会議：6 月 2 4 日

- ・進め方の検討
- ・内部評価の概要報告

■第 2 回市民会議：7 月 2 2 日

- ・28 年度事業の評価検証（総合評価）

■第 3 回市民会議：8 月 1 9 日

- ・28 年度事業の評価検証（意見・提案等）
- ・財政状況（28 年度決算見込ベース）の報告

■第 4 回市民会議：1 0 月 1 5 日

- ・毎年度策定する行財政改革プラン（案）の検討
- ・総合計画審議会答申についての対応状況の報告

※1 月頃に行財政改革プランのパブリックコメントを予定

加西市元気なまちづくり市民会議の運営について

1 会議の公開（会議の傍聴）について

- (1) 会議は、原則公開とする。ただし、会長が公正かつ円滑な議事運営に著しい支障が生じると認めるときは、非公開とすることができる。
- (2) 会議の公開は、傍聴を希望するものに当該会議の傍聴を認めることにより行う。
- (3) 傍聴人の定員は、会議の会場の規模に応じて決定する。
- (4) 前2号に掲げるもののほか、会議の傍聴に関して必要となる手続は、市の規定に基づいて行う。

2 議事の表決等について

- (1) 議事等に関して表決が必要な場合は、挙手により行う。
- (2) 会議において意見等の発言を行う場合は、挙手の上行う。

3 会議録の作成について

- (1) 会議録は、要点筆記で作成する。

4 会議録等の公開について

- (1) 会議録は、市のホームページで公開する。ただし、委員の氏名など発言委員（会長及び副会長を除く。）を特定できる内容は、非公開とする。
- (2) 会議録と併せて、会議資料を公開する。
- (3) 委員名簿は、市のホームページで公開する。

5 その他

その他会議の運営に関して必要な事項は、会長が市民会議に諮って定める。

加西市元気なまちづくり市民会議設置要綱

(設置)

第1条 加西市総合計画等（以下「総合計画等」という。）に基づいた元気なまちづくりを、市民との協働により推進するとともに、効率的かつ透明性の高い行財政運営を構築するため、加西市元気なまちづくり市民会議（以下「市民会議」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 市民会議は、総合計画等の進行管理のため、次の各号に掲げる事項について報告を受け調査するほか、検討した意見を市長に対して提案することができる。

- (1) 加西市地域創生戦略の推進及び評価検証に関する事項
- (2) 行財政改革プランの推進及び評価検証に関する事項
- (3) その他総合計画等の推進に関して必要な事項

(委員)

第3条 市民会議の委員（以下「委員」という。）は、次の各号に掲げる者のうちから市長が委嘱する。

- (1) 関係団体等の推薦する者
- (2) 学識経験者
- (3) その他市長が必要と認める者

2 委員の任期は、2年とする。ただし、再任は妨げない。

3 委員に欠員が生じた場合における補欠委員の任期は、その前任者の残任期間とする。

(会長及び副会長)

第4条 市民会議に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、会務を総理し、市民会議を代表する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときはその職務を代理する。

(会議)

第5条 市民会議は、会長が招集し、会長がその会議の議長となる。

2 市民会議は、委員の半数以上の者が出席しなければ開くことができない。

3 市民会議の議事は、出席者の過半数をもって決し、可否同数のときは議長の決するところによる。

(部会)

第6条 市民会議は、必要に応じ、部会を置くことができる。

2 部会の運営について必要な事項は、会長が定める。

(意見等の聴取)

第7条 市民会議は、その所掌事務を遂行するため、委員以外の者の出席を求め、説明又は意見を聴くことができる。

(庶務)

第8条 市民会議の庶務は、ふるさと創造部人口増政策課において処理する。

(補則)

第9条 この要綱に定めるもののほか、市民会議の運営に関し必要な事項は別に定める。

附 則

- 1 この要綱は、平成28年4月1日から施行する。
- 2 第5条第1項の規定にかかわらず、最初の市民会議は、市長が招集する。

1 目的

第5次加西市総合計画及び加西市地域創生戦略を着実に推進していくため、施策・事業の実施状況から目標の評価検証を行うとともに、PDCAサイクルに基づく進行管理により、効果的・効率的な行政運営に繋げる。

2 評価・見直しの考え方

総合計画の進行管理にあたっては、行政内部において、加西市行財政改革プラン（総合計画の実施計画）に基づき、総合計画に含まれる加西市地域創生戦略の見直しを含め、各担当部署で評価シートを作成し、毎年度評価検証を実施する。

さらに、加西市元気なまちづくり市民会議やパブリックコメント等による評価検証体制の充実を図ることにより、PDCAサイクルでのチェック機能の徹底化を進め進行管理を適正に行う。

3 評価検証の全体の流れ（平成29年度）

| 時期 | 内容 | 市 | 市民会議 |
|---------------|---|---|------|
| 5月 | ①評価シート（評価）の作成 ・基本計画（行政の取り組み）毎に評価シートを作成する。 ・基本計画の進捗状況について内部評価を実施する。 | ○ | |
| 6月 ～ 8月 | ②外部委員による検証 第1～3回加西市元気なまちづくり市民会議（全体会・部会）において、内部評価した評価シートをもとに、その評価と今後の取組や方向性について検討する。 (部会の日程) ・第2回加西市元気なまちづくり市民会議 7月22日（土）13時～15時 4階会議室 ・第3回加西市元気なまちづくり市民会議 8月19日（土）10時～12時 5階会議室 | | ○ |
| 8月 | ③加西市行財政改革プラン（概略）の作成 内部評価した評価シート、前年度決算をもとに、加西市行財政改革プラン（概略）を作成する。 | ○ | |
| 10月 | ④外部委員による確認 第4回加西市元気なまちづくり市民会議（全体会）において、加西市行財政改革プラン（素案）について確認する。外部委員の意見をとりまとめ、全体確認を行う。 | | ○ |
| | ⑤評価シート（計画）の作成 実施計画に基づき新年度予算要求につなげていく。 外部委員の意見に対する実施計画の反映は次年度以降となる。 | ○ | |
| 1月 | ⑥パブリックコメントの実施 加西市行財政改革プラン（案）について、幅広い意見募集を市役所、市内4公民館、市ホームページ等で実施する。 | ○ | |
| 2月 | ⑦加西市行財政改革プラン（案）の見直し 上記④⑥の意見・提案を踏まえて、プランに反映した加西市行財政改革プラン（案）の見直しを行う。 | ○ | |
| 3月 | ⑧加西市行財政改革プランの策定 ・内部決裁後、市ホームページで公表する。 | ○ | |

4 評価検証方法

(1) 対象

第5次加西市総合計画では、将来都市像を実現するため、5つの基本政策を掲げ、30の施策を位置付けており、各施策に196の取組（基本計画）を掲げている。まず内部評価においては、196の取組（基本計画）すべてを対象とし評価検証をした上で、施策としての評価検証を行う。

市民会議で進行管理を行うにあたっては、取組（基本計画）を構成する最も基本的な単位である30の施策について評価検証を行う。

(2) 内部評価（1次評価）

評価シートにより196の取組（基本計画）毎に、前年度の取組状況を整理し課題と今後の取組を分析した上で、次の自己評価を行う。

さらに、事業の施策単位の達成度を勘案のうえ、施策評価一覧にある総合評価（1次評価欄）を行う。

| | |
|--------------|---|
| 進捗状況 | ①未着手、②実行中、③完了 |
| 目標数値の達成度 | S：予定より早く進行 A：予定通り進行 B：予定より遅延 |
| 事業の到達度（事業単位） | S：目標を大きく上回って達成 A：目標を上回って達成 B：目標を達成 C：目標を下回っている D：目標を大きく下回っている |
| 今後の方針 | ①完了、②継続、③見直し、④廃止 |
| 総合評価（施策単位） | S：目標を大きく上回って達成 A：目標を上回って達成 B：目標を達成 C：目標を下回っている D：目標を大きく下回っている |

(3) 外部評価（2次評価）

① 評価方法

委員が市民の視点から30施策について、1次評価の総合評価（5段階評価）と同様の基準で評価する。必要に応じて意見・提案等のコメントを付すものとする。

② 進め方

ア 1次評価の報告

1次評価結果について、事務局より全体概要を説明する。

イ 部会での検討

市民会議において総合評価（1次評価）の内容やその分析結果について、3部会（①人づくり・産業部会、②まちづくり・暮らし部会、③環境・地域経営部会）に分かれて施策の2次評価案を作成する。

ウ 全体会での検討

全体会議において、1次評価と2次評価案で共に評価が悪いもの及び乖離の大きいもの等について重点的に協議し2次評価をまとめる。

5 結果の反映・活用

外部評価結果を事務局から各部にフィードバックの上、総合計画の目標達成をめざし必要な改善検討を加えて、行財政改革プラン（総合計画の実施計画）の見直しに反映するものとする。

平成 28 年度内部評価の概要

後期基本計画に掲げられた取り組みは全部で 30 施策(196 事業)ありますが、29 年度から着手する事業等を除いた検証可能な 203 指標の進捗や到達度等を基に 30 施策について評価・検証しました。

各施策の評価・検証については、28 年度単年度の指標達成率のほか事業内容・規模等にも配慮しながら事業毎の到達度を「S(目標を大きく上回って達成)」、「A(目標を上回って達成)」、「B(目標を達成)」、「C(目標を下回っている)」、「D(目標を大きく下回っている)」の 5 段階で評価のうえ、施策全体の総合評価を、同様の 5 段階区分で評価しました。

全体として一番多いのは B で 25 施策、次いで C の 3 施策となっており、A は 2 施策となっています。今回の評価・検証は、総合計画の後期計画の初年度となる平成 28 年度数値が見込み通りだったか確認するものとなっています。計画に着手した年度であり、概ね B 評価が多くなっており、各事業の指標の単年度達成率から算出した全体の単純平均値は、106%となっています。

※今後、精査の結果、数値が異動する場合があります。

| 基本政策 | S | A | B | C | D | 達成率 (単年度) |
|-------------------------------|----|------|-------|-------|----|--------------|
| 1 明日を担い 未来へつなげる人づくり | | | 3 | 1 | | 90% |
| 2 郷土に誇りを持てる 家庭・学校・地域の輪づくり | | | 3 | | | 100% |
| 3 地域の豊かさと元気 を取り戻す産業づくり | | | 4 | | | 140% |
| 4 都市の魅力と快適さを 高めるまちづくり | | 1 | 3 | | | 89% |
| 5 誰もが最期まで元気に 暮らせる健康づくり | | | 3 | | | 89% |
| 6 身近な幸せを実感できる 安全と安心の暮らしづくり | | | 3 | | | 125% |
| 7 自然環境の保全と 特色ある景観づくり | | | 1 | 1 | | 94% |
| 8 循環型社会をめざす 生活環境づくり | | 1 | 3 | | | 98% |
| 9 住民参画・男女参画で 地域を元気にする加西 | | | 1 | 1 | | 72% |
| 10 健全な行財政運営の確立 | | | 1 | | | 98% |
| 合 計 | 0 | 2 | 25 | 3 | 0 | 106% |
| 割 合 | 0% | 6.7% | 83.3% | 10.0% | 0% | |

【進捗状況】・・・①未着手、②実行中、③完了

【目標数値の達成度】・・・S: 予定より早く進行、A: 予定通り進行、B: 予定より遅延 ※網掛けは、減少指標となっております。

【事業の到達度】・・・S: 目標を大きく上回って達成、A: 目標を上回って達成、B: 目標を達成、C: 目標を下回っている、D: 目標を大きく下回っている

【今後の方針】・・・①完了、②継続、③見直し、④廃止

【総合評価(施策単位)】・・・S: 目標を大きく上回って達成、A: 目標を上回って達成、B: 目標を達成、C: 目標を下回っている、D: 目標を大きく下回っている

| 基本 政策 | 施策 | 枝 番 | 戦略 アク ション プラン | 個票 ページ | 主管部課 | | 進捗 状況 | 目標数値の達成度 | | | 事業の 到達度 | 今後の 方針 | 自己評価(1次評価) | | 市民会議意見(2次評価) | | |
|----------|-------------------|--------|------------------------|-----------|---------|-------------|----------|----------|-------------|-------------|------------|-----------|------------|---|---|----------|--------|
| | | | | | 部名 | 課名 | | 区分 | 単年 (H28) | 最終 (H32) | | | 最終とりまとめ | 総合 評価 | 課題と今後の取組 | 総合 評価 | 意見・提案等 |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1 | 誰もが学べる学習 環境づくり | 1 | 5-88 | 1 | 教育委員会 | 生涯学習課 | ② | B | 93 | 78 | B | ② | B | 公民館活動の活性化を図り、新たに2小学校区(富合小・宇仁小)で土曜日に教育活動事業等を実施するほか、図書館では学校図書館と連携して学校託送や読み聞かせの出前講座等を継続しました。また、文化ホールが9ヵ月間改修中で使用できませんでしたが、各事業の開催方法を見直したり工夫したりすることによって、加西市文化祭の参加人数が増加しました。 | 学校休業日の教育活動は、さらに新しい校区での実施等を目指すほか、アステアかさいと連携しながら図書館の来館者増を図ります。また、文化連盟の会員の固定化・高齢化により自律・発展的な活動が困難な状況ですので、より一層の指導・支援が必要となっています。 | | |
| | | 2 | | 2 | 教育委員会 | 生涯学習課 | ② | B | 83 | 48 | C | ② | | | | | |
| | | 3 | | 3 | 教育委員会 | 図書館 | ② | B | 96 | 88 | C | ② | | | | | |
| | | 4 | | 4 | ふるさと創造部 | 文化・観光・スポーツ課 | ② | S | 116 | 116 | B | ② | | | | | |
| | | 5 | 5-83 | 5 | 教育委員会 | 生涯学習課 | ② | A | 100 | 100 | B | ② | | | | | |
| 1 | 主体的な青少年 活動 | 1 | | 6 | 教育委員会 | 総合教育センター | ② | B | 71 | 50 | C | ② | C | 市外の若者団体との交流や各種イベントに参加するとともに、加西サイサイまつり・成人式等の企画運営に携わるほか、ジュニアリーダー教室等の指導者として参加しました。平成28年度の加西サイサイまつりでは「お化け屋敷大作戦2016」を実施し、約1,000名が来場しました。 | 青年連絡会の会員数の減少に伴い、参画する事業の数が減少していますので、会員数の増加と事業の活性化が望まれます。また、就職等によりジュニアリーダー活動から離れた若者が、再加入できるよう継続的な情報提供をするとともに、新規メンバーの獲得のため、広報活動の充実を図ります。 | | |
| | | 2 | | 7 | 教育委員会 | 総合教育センター | ② | A | 100 | 60 | B | ② | | | | | |
| 1 | 地域で楽しめる体 力づくり | 1 | | 8 | ふるさと創造部 | 文化・観光・スポーツ課 | ② | B | 94 | 93 | C | ② | B | 市民グラウンド防球ネット設置、アラジスタジアム・テニスコート自家用電気工作物修繕、アラジスタジアムカウント掲示板修繕等を実施し、利用者の利便性向上を図りました。また、環太平洋大学による指導者養成講座や各種スポーツ教室を開催し、スポーツ教室は予定よりも多くの方に参加してもらえました。 | 体育施設の利用人数向上を図るため、市内スポーツ団体や指定管理者と連携し、子どもから大人まで、幅広い年代が参加できるスポーツ教室やイベントを開催することや、市民が参加しやすい環境整備を行うとともに、指導者不足を解消するための講習会や研修が必要となっています。 | | |
| | | 2 | | 9 | ふるさと創造部 | 文化・観光・スポーツ課 | ② | B | 89 | 74 | C | ② | | | | | |
| | | 3 | | 10 | ふるさと創造部 | 文化・観光・スポーツ課 | ② | S | 122 | 98 | A | ② | | | | | |
| 1 | 出会いを求める若 者の応援 | 1 | 1-17 | 11 | ふるさと創造部 | ふるさと創造課 | ② | B | 15 | 15 | C | ② | B | 市の単独事業ではなく、官民連携による婚活イベントの実施によって、良質な事業をリスクなく効率的に進めることができました。また、オークタウンや市内製造会社での活動を行うことによって加西市の資源を有効活用することができ、加西市のPRを行うことができました。 | 残念ながら成立カップルが市外在住者ばかりであったため、加西市在住者の参加料金を低額にするなどの対応や新たなアイデアが必要となっています。今後も官民連携によって様々な工夫や取組を行うため、婚活推進に民間活力の導入をさらに進めます。 | | |
| | | 2 | | 12 | ふるさと創造部 | ふるさと創造課 | ② | A | 100 | 50 | B | ④ | | | | | |

平成28年度評価

(サンプル)

資料 5-2

| | |
|------|--|
| 基本政策 | 1 明日を担い未来へつなげる人づくり |
| 施策 | 1 誰もが学べる学習環境づくり |
| 到達目標 | 住民誰もが参加しやすい学習機会を提供し、学習成果を地域の課題解決や創造的活動に活かせる人づくりをめざします。 |
| 関連課名 | 生涯学習課、図書館、文化・観光・スポーツ課 |

| | |
|------|--------------------------------|
| 基本計画 | 1 公民館を中心に生涯学習機会の充実と情報発信を推進します。 |
|------|--------------------------------|

| | | | | |
|------|----|-------|----|-------|
| 主管部課 | 部名 | 教育委員会 | 課名 | 生涯学習課 |
|------|----|-------|----|-------|

| | | | | |
|----------|--------|-------------------------------------|--------------------|--------------|
| 実施スケジュール | | H28 (決算額) | H29 (予算額(補正含む)) | H30 (予定額) |
| | 取組内容 | ・積極的な情報提供 ・学習内容の充実及び多様な生涯学習機会の提供 | ・同左 | ・同左 |
| | 経費(千円) | 2,701 | 3,300 | 3,300 |

| 指標名 | 区分 | 目標(下段の()書きは、変更前の数値)・実績数値 | | | | | | |
|--|----------|--------------------------|------|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | 当初 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31 | H32 |
| ★公民館主催年間講座数【5-88】 (1回だけの単発講座を除く) | 目標 | | 40 | 42 | 44 | 46 | 50 | 50 |
| | 実績 | — | 40 | 39 | | | | |
| (指標及びH32目標値の設定理由) 生涯学習の中核機関である公民館の主催講座数。現状数をほぼ維持。 | 目標数値の達成度 | 単年度 | 100% | 93% | | | | |
| | | 最終年度 | 80% | 78% | | | | |

| | |
|---------|--|
| H28取組状況 | 地域の文化やボランティア養成講座、社会課題に応じた公民館主催講座を連続講座39、単発講座13、合計52講座開催し、昨年より500人減、延8,930人が参加しました。生涯学習情報については、市広報誌の外、新聞、チラシ、ブログやSNS等のインターネットなど、様々な媒体を活用し情報提供を行っています。 |
|---------|--|

| | |
|----------|--|
| 課題と今後の取組 | 主催講座の参加者が地域活動に参加するなど、少しずつ学習成果を還元できるようになってきています。自主的に学ぶ登録グループの高齢化と固定化が進み、活性化を図る必要があります。今後も引き続き、社会課題の解決を図るものや地域ニーズに対応した学習機会を提供していきます。 |
|----------|--|

| | | | | | | |
|------|------|-----------|---------|---------|----------|-------|
| 自己評価 | 進捗状況 | 目標数値の達成度 | | | 事業の到達度 | 今後の方針 |
| | | 区分 | 単年(H28) | 最終(H32) | | |
| | ②実行中 | B: 予定より遅延 | 93% | 78% | B: 目標を達成 | ②継続 |

| | | | | |
|------|--------|-------------------------------------|--------------|--------------|
| 実施計画 | | H30 (予定額) | H31 (予定額) | H32 (予定額) |
| | 取組内容 | ・積極的な情報提供 ・学習内容の充実及び多様な生涯学習機会の提供 | 同左 | |
| | 経費(千円) | 3,800 | 3,800 | |

| | |
|--------|--|
| 変更する内容 | |
|--------|--|

| | |
|------------------------|---|
| 取組みの進捗状況を確認するための数値〔再掲〕 | ※指標・目標値等の概要を表示(変更時は変更前数値を()書き) (指標名)★公民館主催年間講座数(1回だけの単発講座を除く)【5-88】 (定義)公民館の単発講座を除く主催講座の数 (根拠)公民館主催講座の開催実績から算定 (担当者)生涯学習課長 (目標値10年)当初(H22):一講座 現状:40講座 5年後:50講座 (目標値3年)平成30年度:46講座 平成31年度:50講座 平成32年度:50講座 |
|------------------------|---|

外部評価（2次評価）実施要領（案）

1 外部評価（2次評価）の目的

第5次加西市総合計画及び加西市地域創生戦略の着実な推進にあたり、施策・事業の実施状況について、行政内部による評価検証（1次評価）の内容を市民の目線で市民会議委員による外部評価（2次評価）を行い、透明性を確保する。

2 部会の設置

外部評価（2次評価）は、次のとおり1部会4名体制で3部会（①人づくり・産業部会、②まちづくり・暮らし部会、③環境・地域経営部会）を編成し、30施策を分担して評価検証を行う。また、部会には部会長を置き、部会の進行管理を行うものとする。

| 部会名 | 対象政策 | 部会長 | 担当委員 | 参考 (H28年度) | 市担当 |
|--------------|---------------------------|-----|----------------------|-------------------------------|---------------------------------------|
| ①人づくり・産業部会 | 政策1 政策2 政策3 | 委員 | 委員 委員 委員 委員 | 杉本副会長 仲井委員 橋本委員 丸井委員 | 各部会各々 ・事務局 2～3名 ・説明員 2～3名 |
| ②まちづくり・暮らし部会 | 政策4 政策5 政策6 | 委員 | 委員 委員 委員 委員 | 河尻委員 高見委員 立花委員 吉田委員 | |
| ③環境・地域経営部会 | 政策7 政策8 政策9 政策10 | 委員 | 委員 委員 委員 委員 | 牧瀬会長 久米澤委員 半井委員 前田委員 | |

3 外部評価（2次評価）の進め方

(1) 第2回加西市元気なまちづくり市民会議 ※7月22日（土）開催

- ① 全体会で事務局より部会での作業方法の説明（10分）
- ② 部会での検討（90分）

市民の視点から各施策について「総合計画施策評価一覧」を使い、内部評価（1次評価）の総合評価（5段階評価）と同様の基準で評価する。

評価方法は、施策毎の1次評価が妥当であるかを検討し、施策評価一覧の総合評価欄にSからDを書き込んでいく。部会長が案を示し、それに各委員が意見を出す等の方法が考えられる。

| 総合評価基準 | 説明 | 目標数値の達成度 単年(H28)の数値目安 |
|----------------|---------------------------------|--------------------------|
| S 目標を大きく上回って達成 | 計画を大きく上回る進捗があり、予定を大幅に超える成果を得ている | 130以上 |
| A 目標を上回って達成 | 計画が順調に進捗し、予定以上の成果を得ている | 110～129 |
| B 目標を達成 | 計画通り概ね進捗し、一定の成果を得ている | 90～109 |
| C 目標を下回っている | 計画より進捗が遅れ気味で、成果もあまり得られていない | 70～89 |
| D 目標を大きく下回っている | 計画より進捗が遅れており、成果はまだ得られていない | 69以下 |

- ③ 各部会長より総括（20分）

(2) 第3回加西市元気なまちづくり市民会議 ※8月19日(土)開催

- ① 全体会で事務局より部会での作業方法の説明(10分)
- ② 部会での検討(60分)

前回会議で行った評価を確認しながら、前回の意見を記録した事務局整理をもとに意見・提案等のコメントを付し、2次評価案を作成する。

- ③ 各部会長より総括(20分)
- ④ 全体会での検討(30分)

2次評価案を、次のテーブルに当てはめ4点以下となる施策(1次評価と2次評価案で共に評価が悪いもの及び大きく乖離のあるもの等)について重点的に協議し、まとめる。

ただし、2次評価の検討に意見が分かれる案件等で時間を要する場合は、別途調整するものとし、第4回市民会議で最終確定させる。第4回市民会議に向けての2次評価にかかる一連の調整作業の進め方などは、会長に一任するものとする。

■評価テーブル

| | | 加西市(1次評価) | | | | |
|----------------|---|-----------|---|---|---|---|
| | | S | A | B | C | D |
| 市民会議 (2次評価) | S | 10 | 9 | 8 | 7 | 6 |
| | A | 9 | 8 | 7 | 6 | 5 |
| | B | 8 | 7 | 6 | 5 | 4 |
| | C | 7 | 6 | 5 | 4 | 3 |
| | D | 6 | 5 | 4 | 3 | 2 |

※施策毎の内部評価(1次評価)、外部評価(2次評価)をそれぞれS:5点、A:4点、B:3点、C:2点、D:1点に置換し、合算した点数をこの評価テーブルに当てはめて使用する。

※内部評価(1次評価)と外部評価(2次評価)の合計点数が、次の組み合わせ(網掛け部)となるものを、全体会で協議する対象とする。

- ・4点以下の組み合わせ
- ・内部評価(1次評価)より外部評価(2次評価)の方が低い場合で、2段階以上の乖離がある組み合わせ

4 評価結果の反映

外部評価(2次評価)結果を事務局から各担当部にフィードバックの上、総合計画の目標達成をめざし必要な改善検討を加えて、行財政改革プラン(総合計画の実施計画)の見直しに反映する。

5 結果の公表

外部評価(2次評価)を記載した施策評価一覧は、市ホームページ等で公表する。

資料7

平成29年度地域創生関連の主な取組み

| | 事業名 | 区分 | 内容 | 担当課 | 予算 (千円) |
|--------|----------------------------|----|--|--------|------------|
| 出産・子育て | 乳幼児・こども医療費助成事業 | 継 | 乳幼児(0歳～小3)、こども(小4～中3)の医療費の窓口負担分の一部を助成する県助成に加え、市独自の助成額を上乗せし個人の窓口負担を無料とする。 | 国保医療課 | 173,720 |
| | 妊娠・出産・子育て包括支援事業(すくすく相談窓口) | 継 | 妊娠期から子育て期にわたり相談できる窓口を健康福祉会館内に設置し、支援を専門的に行うコーディネーターを配置する。 | 健康課 | 1,000 |
| | 産後ケア事業 | 継 | 産後に家族等から援助を受けられない母子に対して心身のケアや育児支援などを医療機関等に委託して実施する。 | 健康課 | 1,230 |
| | 4歳・5歳児の保育料無料化 | 継 | 子育て支援の充実と負担軽減を図るため公立幼保施設の4歳・5歳児の保育料を給食費等の実費相当まで引き下げる。 | こども未来課 | 170,000 |
| | ファミリーサポート事業 | 継 | 子育て援助を受けたい人で行いたい人が互いに会員となり、地域の中で保育所への送迎等のサポート活動を行う。 | 地域福祉課 | 3,760 |
| 定住促進 | 加西市公共交通網形成計画の策定 | 新 | 「地域にとって望ましい公共交通網のすがた」を明らかにし、まちづくりや観光振興等の地域戦略を踏まえた総合的な公共交通ネットワークの形成を推進する。 | 人口増政策課 | 5,000 |
| | 西高室土地区画整理事業 | 拡 | 西高室土地区画整理組合に対し財政的支援を行うとともに、引き続き宅地分譲を実施する。また、子育て家庭が利用しやすい公園の整備を行う。 | 都市計画課 | 127,250 |
| | 若者定住促進事業 | 継 | 市内で住居を新築・購入する若者世帯に対して補助金(上限50万円)を支給する。また、市内の民間賃貸住宅に居住する新婚世帯に対し、家賃を補助(上限:月12,000円)し、若者の定住促進を図る。 | 産業振興課 | 53,750 |
| | 産業活性化支援(住宅リフォーム助成)事業 | 継 | 市内の事業者で住宅リフォームをした市民に、市内でのみ利用可能な商品券を交付し、市内商工業の活性化を図る(商工会議所と連携)。 ・助成内容(1人あたり):工事費の10%(10万円を上限)相当額の商品券 | 産業振興課 | 5,000 |
| 産業振興 | 若者就職支援事業 | 継 | 就職ナビサイトに、市内企業の採用情報や企業情報を掲載し、UJIターンを希望する学生と市内企業のマッチングを図り、市内への定住促進を目指す(商工会議所と連携)。 | 産業振興課 | 1,500 |
| | 空き店舗活用事業 | 継 | 市内の空き店舗を活用して創業する事業者に対して、開業に要する経費の一部を補助し、空き店舗の利活用を促進する。(賃料、改装費、雇用促進補助) | 産業振興課 | 6,300 |
| | 空き店舗・空き工場バンク | 新 | 市内の空き店舗、空き工場等の適地のデータベースへの登録を推進し、有効活用を図る。 | 産業振興課 | 200 |
| | 新規就農支援事業補助金 | 継 | 新規就農者に対して経営自立安定化、機械施設整備、農地賃借料、住居費の支援を行う。研修受入先の専業農家に対して支援を行う。 | 農政課 | 11,000 |
| 教育 | 北条高校活性化補助 | 継 | 北条高校活性化協議会を通じて、アフタースクールゼミ事業等の支援を行う。 | 人口増政策課 | 7,000 |
| | 外国語活動推進プラン | 拡 | 小学校外国語の教科化に向け、外国語指導助手の充実とともに、オンラインによるネイティブスピーカーとの英会話授業を新たにモデル校で実施する | 学校教育課 | 24,970 |
| | 中高コラボレーション事業 | 継 | グローバル化する国際社会に対応できる人材育成の一環として、北条高校と連携してオーストラリアに中学生を派遣し、国際交流を推進する。 | 学校教育課 | 3,600 |
| | スクールサポーター事業 | 拡 | 各学校や個々の児童生徒の状況に応じて、スクールアシスタント、スクールケアワーカー、ヤングアドバイザー等の支援員を学校に配置し、個に応じた子どもたちの学びを支援する。 | 学校教育課 | 30,400 |
| | かさい学力向上プロジェクト事業(学校図書館充実事業) | 拡 | 各学校の蔵書数を増やし、児童生徒の読書活動を推進するとともに、新たに学校図書館に新聞を整備し、学力向上を推進する。 | 学校教育課 | 8,620 |

加西市地域創生戦略の成果指標の状況（平成28年度）

地域創生戦略の分野としては①人口増対策（自然増と社会増）、②しなやかで元気な地域づくりを掲げており、それぞれ3つの目標、計6つの基本目標を設定している。この基本目標に対して5年後の平成31年度に実現すべき成果に係る総合的な数値目標を設定しており、28年度末の成果指標の状況は、以下の表の28年度数値欄のとおりである。

なお、基本目標のアクションプランとなる各分野の施策についても評価指標を設定しており、総合計画施策評価一覧の戦略アクションプラン欄に整理番号を示すとともに、評価シート（個票）にも表示している。

人口増対策

【基本目標1】 安心して結婚・出産・子育てできる環境をつくる

| 成果指標（平成31年度） | | 基準年・数値 | 28年度 |
|---------------|--------|-------------------|------------------|
| 項目 | 数値目標 | | 数値 |
| 未婚率（女性25～34歳） | 46.6% | 平成22年：49.4%（国勢調査） | 50.2% （平成27年） |
| 出生率 | 1.6 | 平成26年度：1.26 | 1.39 |
| 幼保児童数 | 1,300人 | 平成26年度：1,265人 | 1,268人 |

【基本目標2】 若者や女性の要望にマッチした雇用を確保する

| | | | |
|-------------------|-----|------------------------------|-----|
| 若者の残存定住率 | 80% | 平成26年度：73% | 74% |
| 市内事業所従業員 市内居住率 | 50% | 平成26年度：42% （市新規採用等雇用現況調査） | 42% |

【基本目標3】 地域資源を活用した交流・滞在から定着を拡大する

| | | | |
|--------|---------|---------------|--------|
| 観光入込客数 | 年間100万人 | 平成26年度：85.3万人 | 87.1万人 |
| 移住斡旋数 | 年間200件 | 平成26年度：10件 | 46件 |

しなやかで元気な地域づくり

【基本目標4】 社会や産業の変革に対応した活力ある住みやすいまちをつくる

| 成果指標（平成31年度） | | 基準年・数値 | 28年度 |
|--------------|----------|---------------------|--------------------|
| 項目 | 数値目標 | | 数値 |
| 製造品出荷額 | 5年間で10%増 | 平成25年：2,379億円（工業統計） | 2,514億円 （平成26年） |
| 小売業年間販売額 | 5年間で10%増 | 平成24年：382億円（商業統計） | 417億円 （平成26年） |
| 総就業人口 | 23,000人 | 平成22年：22,721人（国勢調査） | 21,113人 （平成27年） |
| コミュニティバス系統数 | 10系統 | 平成26年度：8系統 | 9系統 |

【基本目標5】 災害に強く、健康で元気に暮らせる社会をつくる

| | | | |
|-----------|---------|-----------------|-------|
| 防災訓練・研修回数 | 年間71回 | 平成25・26年度平均：57回 | 89回 |
| 要介護認定者割合 | 現行水準を維持 | 平成26年度：19.3% | 19.2% |

【基本目標6】 歴史と文化にあふれる加西のブランドイメージを高める

| | | | |
|-------------|---------|-----------------|-------|
| 市ホームページ閲覧数 | 年間195万件 | 平成26年度：153万件 | 178万件 |
| マスメディアの登場回数 | 年間530件 | 平成26年度：400件（新聞） | 528件 |